

議事録

1 表 題	令和2年度第3回那須赤十字病院 地域医療支援連絡会	管理番号			
		作成者	地域医療福祉連携課		
		承認	審査	担当	

開催日時	2020年10月20日(火)13:00~13:30	次回日時	令和3年1月19日(火)
開催場所	Web会議	次回場所	マイタウンホール
出席者	【院外】 【院内】		
議題	意見交換		
配布資料	会次第、会員名簿		
配布先	出席者全員		

進行内容(敬称略)	発言者
<ul style="list-style-type: none"> ● 開会挨拶 ● 委員紹介 ● 那須赤十字病院には、地域の中核病院として、いつもお世話になっている。コロナとの戦いが長期戦になっているが、那須郡市医師会としてのコロナ診療について報告する。那須郡市医師会では新型コロナウイルス感染症の行政検査業務契約医療機関が、大田原市：12、黒磯那須地区：12、西那須野塩原地区：4、計28医療機関で検査数1日.308検査できるようになった。これからもう少し増えるかもしれない。次にPCRセンターについて、設置場所は那須塩原市上中野。ここは那須塩原駅北側から西那須野方面に向かった所に、那須塩原市の私有地があるので、そこを利用することになった。期間は12月1日(火)から令和3年3月末までを予定している。完全予約制で毎週火・金の週2回、13時~14時まで。検査人数は1日最大10人まで。検査方法はドライブスルー方式、原則唾液検査。必要があれば鼻咽頭も可能。検査体制は医師1名、看護師・検査技師1名、事務1~2名、警備誘導1名。参加医師は41名(大田原15名、黒磯那須15名、西那須野塩原11名)看護師派遣は17診療所となっている。今後とも新型コロナも含めて病診がしっかり連携して対応したいと思っている。宜しく願います。 ● 日頃より大変お世話になっている。これからインフルエンザ流行期になるが、マスクの着用もあり例年より少ないのではと思っている。当院でのコロナ状況について報告する。今年の2月に横浜からダイヤモンドプリンセス号の乗客が2名、4月に6名、計8名が入院した。4月が第1波だったと思う。4月に入院した患者が重症化し、1人はレスピレーター、ECMOを使用し自治へ転院搬送となった。5月はその他の重症患者が引き続き入院していた。6月から第2波が来て県南での患者が多く、6月に3名、7月に10名、8月に4名、9月に9名、10月に3名。計37名が当院で入院した。呼吸器内科の医師を含め看護師・検査技師と一生懸命対応している。入院患者の中には外国人がいたが、宗教や食事については十分配慮して対応した。小児の感染があった場合、軽傷は当院で受入 	

れ可能。しかし重症化する場合は獨協へ転院搬送となる。

続いて、脳神経外科の診療制限について報告する。井端医師が体調不良でしばらくお休みしている。そのため、獨協から非常勤で来ている黒川医師が代診している。また獨協の学長にも事情を説明し、バックアップしていただけることとなった。

次に、当院での委員会については短時間で開催している状況である。以上当院の状況である。ご理解ご協力の程、宜しくお願いする。

- 昨年度との患者数比較について

- 意見交換

Q 塩谷病院に外国人のコロナ患者が入院したとき、日本語が通じなくて大変だったとの事。日赤ではその対応は出来ているのか。その患者はラテン語だった。

A 当院ではポケットークを使用している。当院に入院した患者にペルーの方が居たが、ポケットークで対応できた。

- これにて会議を終了とする。

議事録

I 表 題	令和2年度第4回那須赤十字病院 地域医療支援連絡会	管理番号			
		作成者	地域医療福祉連携課		
		承認	審査	担当	

開催日時	2021年1月19日(火)13:30~14:00	次回日時	令和3年4月20日(火)
開催場所	Web会議	次回場所	マイタウンホール(予定)
出席者	【院外】 【院内】		
議題	意見交換		
配布資料			
配布先	出席者全員		

進 行 内 容 (敬称略)	発言者
<ul style="list-style-type: none"> ● 開会挨拶 ● 事前アンケートを行い、先生から議題提出があった。内容は「新型コロナウイルスが増え続けた際に、那須赤十字病院通常診療をどのようにするのか?」。病院側から回答いただきたい。 ● 自治、獨協、済生会の重症化している患者さんの数が逼迫している状況で近隣の病院にも協力いただきたいという話しも上がっている。 先日、皆さまにお集まりいただきました郡市医師会の中でも、県北も徐々に患者数が増え、軽症と思われる患者さんが急に重症化するということを鑑み、また、2月上旬から板室のホテルの運用も始まる。今は県央、県南の患者さん多く、それらを受けることで県北の患者さんを診ることができないということでは困るので、軽傷、中等症は当院でも受けているので、国福、菅間でも7~8人程度は受けているようだ。数が増えればその時点話しをさせてもらうが、できるだけ県北の患者さんを中心に診ていければと考えている。 ● 今度ワクチンが出るという形でいろいろと各市町村で担当の医師が行うことになっているので、バックアップは引き続き那須赤十字病院でお願いしたい。 ● とりあえず医療従事者の予防接種は何とか軌道にはのせられるかなと思っている。考え方として基本病院というものを無くして、役場にディープフリーザーを置いて、連携病院をいくつかという形でやっていこうということになった。 ● 当地区では予防接種は各医療機関でやってもいいとアンケートで回答しているが、それ以上詳しいことは分からない。 	

- 昨日、県医師会と日本医師会とやり取りした中で、ファイザーのワクチンを1アンプル5人分というところでしたが、6人分として使用していただきたいとの変更の申し出があった。

先生（県医師会副会長・小山市）の方では、1000人以上を基幹病院として、100人前後を連携病院という流れの中で申請し、ワクチンの数を集め、それを分配するという形ようだ。県北地域においても市町によってそれぞれ独自のスタイルを設けている。医療従事者が最優先だが、その中には薬局の人や消防隊まで様々な職種が含まれている。アナフィラキシーショック等のアレルギー症状についても、初めに国立系が先行して接種するので、ある程度の情報は集まるであろう。栃木県ではNHO栃木、JCHOが先行接種し、また、ワクチン分配は県北地域はアルフレッサが行うようだ。

- 以上で閉会する。

医療社会事業年報

令和2年度

1. ケースの人数

ケースの区分	実人数
年度実人数	2,385人

《実人数》

ケースの区分	入院・外来	実人数
継続ケース		792人
今年の新規ケース	入院	1,076人
	外来	517人
合 計		2,385人

今年の終了ケース	1,555人
----------	--------

2. 延人数

ケースの区分	延人数
年度延人数	6,127人

3. 新規ケースの紹介経路

区 分	実件数
医師	101件
看護師	765件
リハビリ職	2件
その他院内職員	258件
本人	12件
家族・親戚縁者	27件
院外関係機関	357件
近親者・知人	0件
ソーシャル・ワーカー	71件
その他	0件
合 計	1,593件

4. 新規問題実数

区 分	実件数
家族関係の問題	33件
介護・療養生活上の問題	493件
経済に関する問題	93件
日常生活上の問題	36件
就労・職場の問題	3件
教育の問題	1件
医療の確保に関する問題	441件
人権に関わる問題	73件
心理・情緒的問題	9件
制度活用に関する問題	402件
その他	9件
合 計	1,593件

5. 援助方法

方 法		実件数
面接	本人	424件
	家族・親戚縁者	730件
電話	本人	29件
	家族・親戚縁者	1,136件
訪問	家族・親戚縁者	2件
	その他	2件
同行・同伴・代行		10件
文書・FAX		2,479件
情報収集		2,877件
院内協議・院内カンファレンス		13,079件
院外協議・院外カンファレンス		10,169件
合同カンファレンス		87件
合 計		31,024件

6. 相談援助調整内容

内 容		件 数
1	家族関係に関すること	712件
2	在宅介護・地域生活に関すること	658件
3	療養生活に関すること	135件
4	経済的問題に関すること	707件
5	就労・職場環境に関すること	30件
6	就学・教育環境に関すること	19件
7	虐待・暴力・人権に関すること	756件
8	受診・受療に関すること	1,185件
9	転院に関すること	4,576件
10	他施設利用に関すること	1,758件
11	心理・情緒的問題に関すること	80件
12	他福祉関係法利用に関すること	1,334件
13	その他	26件
合 計		11,976件

7. 介入の時期

区 分	実人数
受診	177人
外来継続	239人
入院時	164人
入院継続	201人
退院期	711人
その他	101人
合 計	1,593人